



企業・団体名	特定非営利活動法人 日本演劇情動療法協会	事業内容	演劇情動療法で認知症患者のBPSD(行動・心理症状)を抑え, 介護を楽しくする。		
連絡先	住所	〒 983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5 みやぎNPOプラザ内			
	Tel	080-9629-4010	9:00~18:00	Fax	022-251-3308 担当者 代表 前田 有作
支援可能対象団体	【職場見学】【就業体験】 高等学校 【講師・指導者の派遣】 高等学校 P T A その他協働教育活動団体			支援可能人数	【職場見学】 一度につき3名まで 【就業体験】 一度につき10名程度まで 【講師・指導者の派遣】 一度につき6~20名まで
支援可能地区	全県	支援可能時期	【職場見学】 毎週金曜日午後2時から午後3時までの60分間 【就業体験】【講師・指導者の派遣】 随時受入		
支援分野	【職場見学】【就業体験】 福祉・医療・健康・介護に関すること 歴史・文化・芸術・伝統芸能に関すること 【講師・指導者の派遣】 福祉・医療・健康・介護に関すること 歴史・文化・芸術・伝統芸能に関すること その他 (コミュニケーション・演劇介護論ワークショップ)				
支援内容	<p>【職場見学】 宮城県仙台市太白区にある仙台富沢病院において, 認知症患者に対して行われている「演劇情動療法」の現場を見学。 日時は金曜日の午後2時から3時までの60分間。 認知症の方がどんなに感じる心を持っているのか, 語り伝えることができるのか, 演劇を通じた文化芸術の力がどのように認知症の回復に役立つのかを目で見て体験する。 その後, 仙台富沢病院の院長先生や, 理事長先生から医学的な解説やエビデンス(根拠)の説明を受けることができる。</p> <p>【就業体験】 高校生(演劇部)に対してプロの俳優・演出家が菊池寛の芝居「父帰る」を指導・演出をする。 稽古期間は最低1ヶ月以上は必要。指導回数は最低5, 6回。 病院やデイサービスで認知症患者に対して「父帰る」を上演し, 感激・感動してもらう。 上手くいけば認知症のお年よりは涙を流して感動し, それをなした自分たちにやりがいと自信を持つ事ができる。 同時にコミュニケーションの大切さをワークショップで掴んで行く。</p> <p>【講師・指導者の派遣】 テーマ: 「コミュニケーション・演劇介護論ワークショップ」 内容: ゲームや遊びを通して, 人間が本来持っている五感を再開発し, 個性の尊重, コミュニケーションの大切さに気付く。</p>				
過去の支援例	【就業体験】 山形県立置賜農業高等学校の演劇部による, 山形厚生病院デイサービスでの上演 【講師・指導者の派遣】 仙台富沢病院, 山形厚生病院, 青木会中央病院(埼玉)				
支援にあたり特記・注意事項	【就業体験】 学校側の協力が必須 【講師・指導者の派遣】 スケジュール調整が必要なため, 早めの連絡が必要				
業務の紹介やPR	仙台富沢病院の医院長, 理事長そして演出家の共同研究による情動機能*の改善を狙った, 最先端のエビデンスを伴った療法です。 *情動機能⇒他人の痛みが分かるなど, 社会生活を円滑に進めるための知能				
ホームページ	https://www.jadet.jp/				